

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子育てサポート・ふれ愛 大和西大寺北校 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年12月11日	～	令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和7年12月11日	～	令和7年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービス計画に沿った支援を行えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り時には手元に個別支援計画書を置き、それを見ながら振り返りを行っているため、保護者にも個別支援計画を意識して振り返りを聞いていただくことができる。 ・職員間では定期的にモニタリングを実施し、お子様の発達や支援内容について検討する機会を十分設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートに基づき保護者と面談を行い、発達の状況やご家庭や小学校での過ごし方を把握し、個々に最適な個別支援計画書が作成できるように努める。 ・引き続き個別支援計画書を中心に全職員で統一した支援が提供できるように取り組む。
2	お子様の状況に対して保護者と共通理解をし、共感的に支援ができています。また相談に迅速に対応できています。	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの有無に限らず、保護者へのお声掛けやご様子伺いはできるだけする様に心がけている。 ・学校生活でのトラブルなどを伺った時は、そのままにせず職員で情報共有を行い、必要に応じて相談の場を設けるなどの配慮をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者から相談がある時には、保護者のお困り感に寄り添いながらも対応策を明示していけるように相談支援の技術も高めていく。 ・ご相談に関してはできるだけ早い解決ができるように、相談の場を早めに取り入れる。
3	お子様は安心感を持って通所し、保護者は事業所の支援に満足いただけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員との信頼関係が築けていることで、お子様にとっても放課後等デイが自分の居場所となっていることが大きな要因だと感じる。 ・特に総合クラスにおいては、次回の放課後等デイサービスの簡単な内容をお伝えし、見通しを持って参加できるようになったことが安心感につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もお子様に安心と楽しさを提供できるように、活動の内容をより良いものにしていく努力を行うと共に、見通しを持って参加できるよう配慮していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通所を楽しみにできないお子様が少数確認された。	高学年になると友人と遊んだり、休みの日に自分のしたいことに時間を使いたくなるのも自然な流れだと捉え、むしろ望ましい成長過程と考える。	お子様の成長に合わせた最善の選択ができるように、お子様本人・保護者・関係機関と相談して進めていく。
2	事業所のプログラムが固定化されていると感じておられる声が少ない。	昨年行っていたプログラムを行うことはあり、数年通ってくださっているお子様にとっては、繰り返しの内容となってしまうことはある。お子様にとって人気のあった活動や、経験してもらいたい活動は特に毎年行っている。	毎年活動のプログラムを再検討し、年間の目標設定に応じた内容を検討しているが、数年通ってくださっているお子様でも十分に楽しめ、良い刺激となるようなプログラムを今後も検討していく。
3	ガイドラインの「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が設定され、支援内容も具体的に示されていると感じていただけていないケースがある。	各々のお子様について必要な本人支援を検討し、できるだけ具体的な内容になるように検討しているが、「家族支援」「移行支援」についてはもう少し改善の余地がある。	放課後等デイサービスのガイドラインに応じて、「本人支援」「家族支援」「移行支援」の内容を入れ、特に「本人支援」については具体的な内容を提示できるように取り組んでいく。